

【会場】

九州大学病院 (日本), アレマナ病院 (チリ), コスタリカ ガストロクロナ (コスタリカ), ボゴタ・ザビエル大学 (コロンビア), カリ・ザビエル大学 (コロンビア), メキシコ国立医学・栄養センター (メキシコ), シェア・アマサトラン病院 (メキシコ), メキシコ総合病院 (メキシコ), サンパウロ大学 (ブラジル), ブラジル癌研究所 (ブラジル), 連邦直轄区 パーゼ病院 (ブラジル), ノッサ・セニョーラ・ダス・グラッサス病院 (ブラジル), サンタクルス病院 (ブラジル), リオグランデ・ド・スル連邦大学 ポルト・アレグレ病院 (ブラジル), アレマオ・オズワルド・クルス病院 (ブラジル), ヴィタ パーテル病院 (ブラジル), カシア・ド・スル大学 (ブラジル), フォルタレザ総合病院 (ブラジル), エルネスト・ドルネーレス病院 (ブラジル), クイパー内視鏡クリニック (ブラジル), パラナ連邦大学 (ブラジル), ウニョンド カンボ・グランデ (ブラジル), ノッサ・セニョーラ・ドス・ブラゼーレス病院 (ブラジル), カンペーナス カトリック教皇庁立大学 (ブラジル), メドクリン マレシャル・カンディド・ロンドン (ブラジル), ガストロスル クリニック (ブラジル), エドガルド レバグリアティ マーティンス国立病院 (ペルー), ギレルモ・アルメナラ・イリゴエン病院 (ペルー), ムルティベルフィル病院 (アンゴラ), ニカラグア消化器病学会 (ニカラグア), 福岡大学筑紫病院 (日本), 九州医療センター (日本), 大阪国際がんセンター (日本), 近畿大学 (日本), 東京医科歯科大学 (日本)

【概要】

コロナ禍にもかかわらず第23回ラテンアメリカテレカンファレンスは参加者が自宅から接続することで成功裏に終わった。また、画質・音質ともに全く問題なかった。興味深い2症例について臨床面や内視鏡および病理診断、治療の観点から議論されたが、参加者にわかりやすいようにオンラインでのクイズ形式が用いられた。日本の内視鏡と病理の専門医を交えた非常に活発な議論ののち、疾患に関して簡単な文献的考察が行われた。



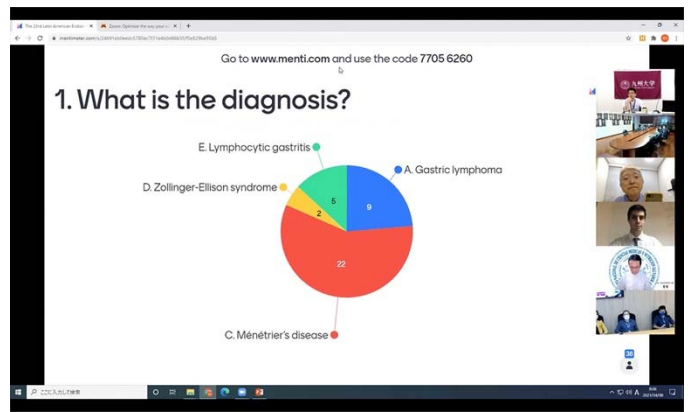
提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



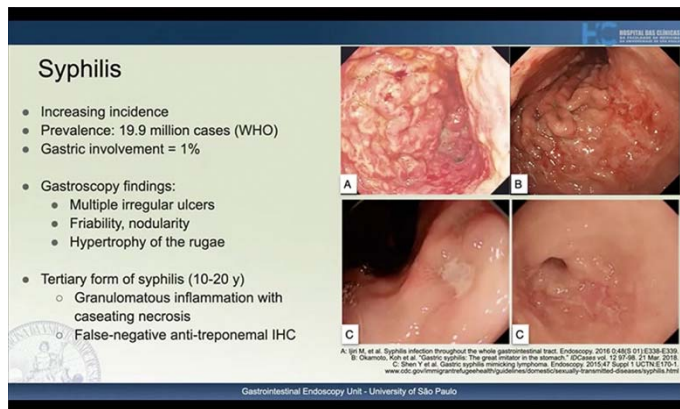
九州大学病院から参加するDr.森山。
撮影場所：九州大学病院



サンパウロ大学から参加するDr. Paulo Sakai。
撮影場所：九州大学病院



リアルタイム投票システムを用いた質問。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される接続施設。
撮影場所：九州大学病院